



芳賀地区広域ごみ処理施設の外觀イメージ

広域ごみ処理施設 入札と協力企業は

佐藤議員 芳賀地区広域ごみ処理施設は、すべての部分でクリーンでなければいけないと思う。業者とコンプライアンスについて、どのような取決めをしてあるのか。また、協力企業については、企業名と請負額を公表すべきではないか。

市長 芳賀地区広域行政事務組合では、入札参加者の資格要件を規定しており、審査の結果、入札参加者の資格要件及びJV結成に当たっての協定内容を満たしていた。今後とも確保されるものと考えてい

る。事業者選定に当たっては、透明性、公平性、公正性が確保できる総合評価方式一般競争入札により実施されている。これまでの取り組みは、広域行政事務組合のホームページに掲載するなど、広く公表するとともに、一連の手続を経て組合議会で議決され、市議会にもその都度説明してきた。

協力企業十一社のうち、戸田建設株式会社宇都宮営業所、大瀧建設株式会社、日正建設株式会社、有限会社松本工務店の四社は、設計・建設工事を担当する企業である。また、株式会社神戸製鋼所、神鋼真岡総合サービス株式会社、株式会社カンエイメンテナンス、株式会社エーメス、はが野農業協同組合、日生電機株式会社下関支店真岡事業所、前田道路株式会社栃木営業所の七社は、運営事業者に対して、財政支援や運転管理、点検・補修等の支援、環境教育等の支援及び品質確保等の支援を行う企業である。



正式決定した介護マークのデザイン。「介護」の文字に人が支え合う図柄を入れ、色は静岡県特産のお茶とみかんをイメージした。

介護者のための 介護マークの導入を

佐藤議員 女性を介護する男性にとって、困るのがトイレなど女性しか入れないスペースに入る時であるとの相談を受けた。私が調べたところ、全国では様々な取組みが行われており、静岡県では名産品のミカンとお茶をイメージした介護マークを公募により導入して

いる。真岡独自の表示をつくってよいと思う。介護する人が不自由を感じているので、本市としても何らかの対策を考へるべきではないか。

健康福祉部長 介護マークは、認知症の方の介護が他の人から見ると介護していることが分かりにくい。そのため、誤解や偏見を持たれて困っているとの介護家族からの要望にこたえ、全国に先駆けて静岡県が作成し、平成二十三年四月から交付しているものである。

本市においては、現在ところ

介護家族等からの要望は聞いてないが、外出先では介護する方も一緒に利用できる障がい者用のトイレや多目的トイレを利用しているものと考えている。しかしながら、使用中でやむを得ず一般のトイレを使用する際など、介護マークが必要となることも考えられる。また、真岡市以外に行く場合もあると思われるので、静岡県のようにより県内で統一した表記で実施するのが望ましいと考えている。

今後、県内の状況を見ながら、介護者家族の会などの関係団体等の意見を参考に検討したい。